

事務事業チェックシート

事務事業No 事業名
426 農業施設改良維持事業（改良）（農道・水路・ため池等の農業施設の改良工事、維持修繕）

[長期総合計画]

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	1	地域産業の振興
施策	3	農林業の振興
基本方針	1	農業生産基盤の整備

[まち・ひと・しごと創生総合戦略]

基本目標	I	安定した雇用を創出する
政策	3	地域産業の競争力強化
施策	I	農業・漁業の活性化

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	～		
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	耕地課	坂本 茂彦(435-1051)	
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		農林水産業費	
	項		農業費	
	目		農業施設改良費	
	大事業		農業施設改良事業	
事項		農業施設改良維持事業（改良）		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
	○			
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		事業内容					
事業概要	農業従事者が生産に専念できる環境を作るため		農道・水路・ため池等の農業施設整備 農道の拡幅、舗装の工事 水路の断面拡幅、構造改良の工事 ため池の余水吐改良、堤体修繕改良、取水施設修繕改良の工事				
	実施内容	平成25年度 農道・水路・溜池等の施設の改良工事	平成26年度 農道・水路・溜池等の施設の改良工事	平成27年度 農道・水路・溜池等の施設の改良工事	平成28年度 農道・水路・溜池等の施設の改良工事	平成29年度 農道・水路・溜池等の施設の改良工事	

2 事業コスト

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	149,402	147,830	138,773	127,235	128,953	114,874	116,779		116,779	
伸び率 (%)	-	-	-7.1%		-7.1%		-9.4%		0.0%	
人件費	常勤職員	40,874	39,787	39,787	42,886	44,402	44,356	44,356	44,356	
	非常勤職員		1,505	1,505	1,404	1,505	794	794	794	
	小計	40,874	41,292	41,292	44,290	45,907	45,150	45,150	45,150	
国庫支出金							2,500		2,500	
県支出金	4,500	4,500	3,600	3,600	3,000	3,000	2,100		2,100	
市債	132,500	125,700	115,300	107,000	123,600	109,500	95,200		95,200	
その他										
一般財源（税等）	12,402	17,630	19,873	16,635	2,353	2,374	16,979		16,979	
所要人数	常勤職員	5.51	5.24	5.24	5.77	5.84	5.83	5.83	5.83	
	非常勤職員		0.71	0.71	0.71	0.71	0.36	0.36	0.36	
主な予算内訳	農業施設改良工事請負費：87,559千円、舗装改良工事請負費：10,500千円、小規模土地改良工事請負費：6,820千円、測量設計委託料：5,000千円									

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	工事件数	年度目標値			51	57	47	39	39	
		実績値			43	38	39			
	単位	件	全体目標値							
			全体目標達成度			年度別達成度	84.3%	66.7%	83.0%	
成果指標	改良工事を行った整備延長距離	年度目標値			3,062	2,049	1,883	1,415	1,415	
		実績値			3,032	2,187	2,342			
	単位	m	全体目標値							
			全体目標達成度			年度別達成度	99.0%	106.7%	124.4%	

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	生活関連事業であり、方向性については、現状維持で行うことが望ましく、また既存の農業用施設の機能改良を行っていき、和歌山市の安心・安全な農業の振興に努めてまいります。また、コスト投入についても現状維持で生活基盤を維持していくことが望ましいと考えております。
「見直し」 「改善」案	農業従事者の利便性を向上させるため、より計画的かつ有効な施設改良を行うとともに、増加し続ける住民の要望にも対処していくため、地域の現状を勘案しつつ、事業の実施に努めていきます。